



登別市男女共同参画情報紙

アンダンテ

君と僕 互いの力生かし合う
共同参画パートナー

「アンダンテ」…「歩くくらいの速さで、ゆっくり演奏」という意味の音楽記号
男女共同参画の理解や取り組みが「じっくりと自分のペースで進む
ように」という期待を込め、名付けました。

No.22



～性別や年齢の違いを超えて、男女が平等に
そして、自分らしく生きていくために～

男女共同参画社会に向けた作品展

登別市では、男女共同参画社会について家庭や学校、職場、地域で考えるきっかけとしてもらうため、
標語や習字、ポスターなどで男女共同参画社会のイメージを自由に表現した作品を募集し、市民会館に募
集作品全てを展示する作品展を開催しています。

令和7年度は、市内外の小・中・高校生から標語 172 点、習字 720 点、ポスター13 点が寄せられまし
た。

その中から、**ポスター・標語・習字の最優秀作品** を紹介します！



鷲別中学校 美濃 優花

それぞれの
個性輝く
将来へ

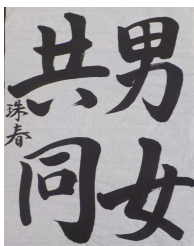
幌別西小学校六年
工藤 希生

一人ひとり
輝いてるよ
その個性

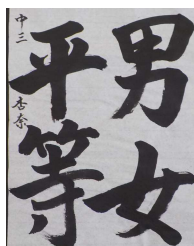
幌別西小学校五年
楠本 理紗

だれにでも
わけへだてない
やさしい心

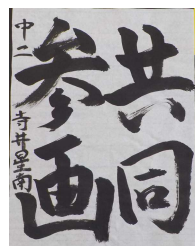
幌別西小学校四年
佐藤 光優



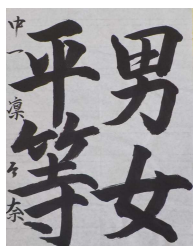
室蘭清水丘高
等学校
3 年生
須田 珠春



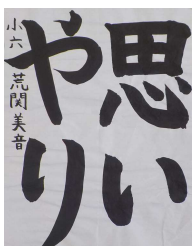
幌別中学校
3 年生
田中 杏奈



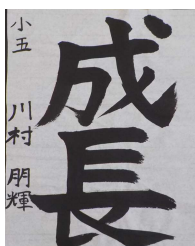
登別明日中
等教育学校
二回生
寺井 星南



鷲別中学校
1 年生
三浦 凜々奈



青葉小学校
6 年生
荒関 美音



幌別西小学
校
5 年生
川村 朋輝



若草小学校
4 年生
田邊 愛結

令和7年度 登別市男女共同参画社会に向けた作品展表彰式

市内外の児童・生徒から応募いただいた「標語・習字・ポスター」の905点の作品から入賞作品50点を選考し、12月13日（土）市民会館中ホールにて表彰式を執り行いました。

当日は40名の受賞者の児童生徒とその保護者の方々が集まり、小笠原市長より受賞者一人ひとりに賞状を、登別市男女共同参画社会づくり推進会議 千葉早苗委員長より記念品のフレームが手渡されました。



また、表彰式終了後には、「^{たの}楽しくって^{ため}になる」をテーマに、外務省が公開している動画を視聴すると共に、登別市男女共同参画社会づくり推進会議委員が作成したジェンダー平等の啓発スライドで子どもたちにも分かりやすく、楽しめる講演を行いました。

子どもたちには、一人ひとりの違いを尊重し、安心して自分らしく過ごせる社会について考えるきっかけになればと願っております。

登別市男女共同参画フォーラム2025 開催！

日 時：令和7年12月13日（土）

13時30分～15時00分

会 場：登別市民会館 中ホール

テーマ：「生涯現役でいられるセルフプロデュースと地域活動について」

講 師：北海道医療大学 非常勤講師 長谷川 聡 氏



登別市男女共同参画社会づくり推進会議が主催し、北海道立女性プラザ連携事業として「男女共同参画フォーラム2025」を開催、41名の参加がありました。

長谷川聡氏の講演では、セルフプロデュースとは、自分自身の生き様やなりたい姿を心に決め、それを効果的に周囲に提示することだと解説いただき、性別、年齢、役割などの「縛り」にとらわれない「なんちゃらフリー」の精神を提唱し、「私ごときが」といった自己差別的な言葉を避けることの重要性が語られました。

また、「社会参加」の真の意味は、役職や肩書きではなく「人と繋がること」「孤立しない生き方」であり、これが健康と幸福に不可欠で、家庭や地域での繋がりが基盤となるとし、今日から具体的な行動を起こし、望む人生を歩むことの大切さが示されました。

さらに、演習では参加者同士が数人1組となり、「この1週間の暮らし」「今の暮らしで大切にしていること」「来年やってみたいこと」などを語り合う対話練習が行われました。普段は話す機会の少ないテーマに触れながら、互いの考えを共有する貴重な時間となり、会場には終始あたたかな雰囲気が広がりました。

～～参加者のアンケートから～～

- 長谷川先生の講演を聴講し、人生にゴールがあるとして未来をどんな姿で生きていきたいか10年後20年後30年後を具体的にイメージしてみようと思いました。
- ひとつの芝居をみているようで、とてもひきこまれました。など、たくさんの感想をいただきました。



～地域で活躍する女性へのインタビュー～

兄妹ユニット「和太鼓 ZINKA」和太鼓奏者

金澤 綾花さん にお話しをうかがいました！

Q 和太鼓奏者を職業にしよ
うと決意したきっかけは？

A 兄が和太鼓を始めること
となり、一緒に5歳から始め
ました。また、炎太鼓のプロ
デューサーに小学6年生の
時にスカウトされ、プロの道
へ進むことを決意しました。

Q 海外では、言葉や文化の壁
をどのように乗り越えてい
ますか？

A 言葉は翻訳機やジェスチ
ャーで補い、日本では気苦労
が多かったものの、海外では
自分らしい考えを、素直な言
葉で発信でき、苦しさはほと
んど感じませんでした。

Q 太鼓と家庭の両立はどうしていますか？

A 日中の活動の際は、子どもを連れて行くこともあります。
スケジュール管理を徹底し、家事を終わらせ、子どもを寝かしつけ
てから、家で出来る打ち合わせなどを組むようにしています。
その後は、夫に協力してもらい子どもの面倒を見てもらっています。
また、海外へ行くときは、長期滞在するため、子どもの世話は、夫
はもちろん兄嫁や、近くに住む幼馴染にお願いしています。



Q 今後の夢は？

A 和太鼓 ZINKA の知名度を高めて
登別市を和太鼓のまちとして盛り
上げたいです。そして、娘には自分
の姿を見て育ってほしいです。

Q 体力づくりはどうしていま
すか？

A 打ち込みスタイルとして、持
久力と瞬発力を大切にしてお
り、自宅のできる範囲で筋ト
レやランニングを行うなど
「見せる筋肉」も意識して鍛
えています。

Q 独立することへの不安はあ
りませんでしたか？

A 和太鼓奏者という仕事しか
考えていなく不安はなかった
です。最初は収入が無かった
ですが日々腕を磨き宣伝し少
ずつ広まったと思います。

Q これから活躍を目指す方々
へ、メッセージをお願いします。

A 一人の女性として、色々な意
見飛び交うと思いますが、
結婚や出産のハードルに負け
ずに、自分らしい生き方を全
うして欲しいと思います。



小学4年生向け啓発冊子「あなたらしく、自分らしく！」アンケート結果

登別市では、男女共同参画冊子「あなたらしく、自分らしく！」を小学4年生に配布しています。また、児童と保護者を対象に「男女共同参画への意識を把握することを目的としたアンケート」を実施しましたので、集計結果を抜粋してご紹介します。

●児童アンケート回収率97.0%

4.「女のくせに」「男のくせに」という言い方は
ない方がいいなと思う。

区分	人数	令和7年度(%)	令和6年度(%)
はい	272	93.2	92.2
いいえ	19	6.5	7.5
無回答	1	0.3	0.4
どちらでもない	0	0.0	0.0
計	292	100.0	100.0

●保護者アンケート結果(回収率26.9%)

Q5.「男女共同参画社会」という言葉を
聞いたことがありますか？

区分	人数	令和7年度(%)	令和6年度(%)
はい	55	67.9	70.2
いいえ	26	32.1	29.8
無回答	0	0.0	0.0
どちらでもない	0	0.0	0.0
計	81	100.0	100.0

●アンケート結果から

児童アンケートでは、93%の児童が、社会的な固定観念による性別の役割に捉われていないことがわかります。

保護者アンケートでは、「女の子は女の子らしい色が良いと決めつけない事など、子どもと一緒に考える良い機会となった。」「子ども達にも、自分らしくいて欲しいです。」などのご意見をいただきました。

女性プラザ祭 2025 “好き”をおきらめない私へ

去る2025年11月4日（火）～8日（土）の日程で札幌市に所在する「道民活動センター（かでの2・7）」にて、「女性プラザ祭2025」が開催されました。

女性の農業者グループ等の協力による人気カフェのスイーツや雑貨の販売、道産食材と手作り味噌を使用した「豚汁ランチ」の提供などをするプラザマルシェの開催、「マダム・イン・ニューヨーク」のDVD上映会や歌と朗読を組み合わせたミニコンサートもありました。

講演では、女性の企業やパネルディスカッションによる「女も男もワイワイセッション」、性暴力について考える憲法カフェ等の他、フェムテック【female(女性) + Technology (テクノロジー) をかけ合わせた造語】を紹介した講演会があり、元TVアナウンサー国井美佐さん（フェムテック北海道代表理事）が「女性のからだとキャリアをつなぐーフェムテックが拓く未来～自分を愛して、じぶんらしく生きる時代へ～」をテーマに、フェムテックの広がりや背景にした女性の体とキャリアの繋がりや、自分を大切にしながら輝く方法を紹介して頂きました。

女性プラザ祭は社会における女性の輝きを改めて、感じ、考える機会となりました。



お母さんのものだと思っていませんか？
お父さんにも知っていただきたい内容です

子育てアプリ「のぼのぼ」

～妊娠から出産、子育てまでをフルサポート～

妊娠から出産そして子育てと、日々の思い出を楽しく記録しませんか。子育てアプリ「のぼのぼ」は登別市が提供する、子育てに関する情報がひとまとめになった安心してお使い頂ける子育てアプリです。妊娠中の思い出を記録し家族で共有できるなど、妊娠中から利用できるメニューもあります。出産後はお子さまの健診や種類の多い予防接種など、やることが多くて大変ですが、「のぼのぼ」はプッシュ通知で予定をお知らせするなど、育児を少しでも楽にするお手伝いをします。ぜひご利用ください。



母子モ



二次元コードからダウンロードまたは「母子モ」とご検索ください。

「登別更生保護女性会」

の活動のご紹介



登別更生保護女性会は、罪を犯した人や非行をした少年少女の立ち直りを助け、犯罪や非行のない明るい社会づくりを支援するため立ち上げたボランティア団体です。

主な活動としては、社会を明るくする運動への参加、学校へ命の大切さの啓発リーフレット配布、保護司さんとの朝の挨拶運動、サークル展などでの犯罪予防啓発パネルの展示、赤い羽根街頭募金の実施、更正保護施設への物資提供や食事づくり支援などを行っております。また、月1回、第三日曜日にヌプルで「こども食堂おにっ子」を開催しています。

問合せ先 登別市市民生活部市民協働グループ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地 TEL: 0143(85)2139

FAX: 0143(85)7674 Mail: simin_danjyo@city.noboribetsu.lg.jp

登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」第22号 発行日: 令和8年4月

企画・編集: 登別市男女共同参画社会づくり推進会議 アンダンテ企画・編集委員一同